



センター長あいさつ(藤敷庸一)

もう四年になる。
 アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲氏。
 医師として活動している中、「アフガニスタンの人々にとって本当に必要なのはきれいな水だ」と分かった中村氏は、医療行為ではなく、水路づくりを始めた。

自分の専門分野を超えた活動は、砂漠を草原に変えていった。戦争で荒れ果てた農地を復活させ、飢餓と貧困の中、戦争に行くしかなかった若者が農地に帰って来た。そして、きれいな水と農作物は、子どもたちの健康問題をも改善していった。

水路建設を進めていく活動は、中村氏の死後も続いている。この事実、ひとりの人の決断と行動に人々の共感と行動が加われば、創始者の死で終わらない、死を越えてさらに続けられていく活動になることを教えてくれている。

世の中は変わらなくても、希望が感じられる一筋の光を見出すことができる。目の前の課題に真摯に向き合い、本当に必要なものは何かを見出し、専門分野を措いてでも、今必要なことを満たすために動いた決断と行動力を見たい。

お電話での相談

迷ってもお電話ください

0739-42-5515

(9時~17時)

このスタッフが電話に出ます。
 留守番電話の場合には、お名前だけ残していただければ、折り返しご連絡しますので、電話番号を通知してお電話して下さいね。

LINE・メールでの相談

LINEはこちら

メールはこちら



✉ nokonokojikasen@gmail.com

うまく文章を書けなくても大丈夫。
 間違っても気にしないで大丈夫です。
 書ける範囲で書いてくださったらお返事します。

相談窓口 (事前にご予約をお願いします)

センター仮移転のお知らせ



本年5月に開所いたしました私共「くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ」は現在、令和6年4月のセンター移転に向けて準備中です。それまでのあいだ12月1日より、下記に仮移転いたしました。仮移転先は白浜駅の近くになります。今後とも、よろしくお願い致します。

移転日 令和5年12月1日(金)

仮移転先住所 〒649-2201 和歌山県西牟婁郡白浜町堅田1484-1

駐車場(建物裏)



※TEL・FAX・MAILの変更ありません

一人で悩まずに一緒に考えませんか

こどものこと、親のこと、家族のことで悩み事のある方、地域や学校で気になる児童・生徒のことを心配されている住民の方や先生方、「このこのスタッフと一緒に考えていきませんか。小学生・中学生・高校生も相談可です。」

上記のとおり、センターが白浜駅近くの「元、協栄生命(ジブラルタ生命)ビル」に4月まで仮移転しています。

一階入ってすぐ右側が事務所です。相談室は2階で、左の写真の通り、明るくて広い部屋で相談しやすいレイアウトになっています。まずは電話、メール、ラインで連絡を入れてください。そこから、一緒に考えていければと思います。そして、よろしければセンターに来所

していただければと思っています。

相談には、臨床心理士や精神保健福祉士、社会福祉士、保育士、元教員が担当させていただけます。内容に応じて、複数の専門職が一緒にお話を伺う場合もあります。

現在、相談は、お子さん、保護者の方、祖父母等家族の方、学校の先生方、福祉の専門職の方が対象となっています。学校や福祉機関等からの紹介と、この場合も少なくありません。また、場合によってはご家庭や学校への訪問による相談・支援も実施しています。

内容は、学校へ行けない、行きづらい、生活行動面で気になることがある、子育てについて、成長・発達についてなど、さまざまです。解決に向けて、お子さん、保護者さん、学校、関係機関がつながって取り組んでいるケースもあり、そのような場合は事態が好転に向かうことが多いようです。

どうかお一人で悩まずに一緒に考えませんか、ご連絡お待ちしています。来所訪問による相談日時は、平日の9時から17時45分までになっています。

相談室



通信

のこのこ

くまのっ子 児童家庭支援センター

令和5年12月号 (第7号)

運営者
特定非営利活動法人白浜レスキューネットワーク



各所でお話をさせてもらっています

のこのこでは、センター長や相談員が、学校や市町等の様々な団体から、声をおかけいただいて、講師としてお話をさせてもらっています。開所以来の代表的なものを下にまとめています。

保護者向けでは、子育てのお話の依頼が多く、教員向けでは、子ども理解や配慮を要する児童生徒支援についてのお話の依頼が多いです。また、今日的課題である「合理的な配慮」や「ヤングケアラー」といったテーマもあります。

12月以降では、次のお声掛けをいただきました。

12月15日(金)19時から、すさみ町さみ町総合センターで、すさみ町いじめ問題対策協議会「自殺防止、虐待、不登校の取組の現場から」、12月18日(月)14時から、12月18日(月)14時15分から、田辺市立本宮中学校で、人権擁護連盟本宮支部研究大会・小中学生人権お話し会合同大会「基礎学力・基礎体力・社会性・自殺志願者と関わって気づかされたこと」を藤敷センター長が話させてもらいます。また、1月21日(日)13時30分から田辺市民総合センターで、男女共同参画推進員企画講座で「UGBTQって？」を栗田相談員が話させてもらいます。

月	依頼団体等 (代表例)	テーマ
5	みなべ町子ども家庭支援ネットワーク協議会	地域での見守り支援について
6	上富田町要保護児童対策地域協議会代表者会議	児童家庭支援センターがなぜ必要かと考えたこと、のこのこの事業説明
8	川辺西小学校職員研修	合理的な配慮が必要な児童の見取りと支援について
8	白浜第二小学校職員研修	児童理解と支援の意義と方法
10	岩田小学校保護者学級	子どもの人権を大切にしたい子育てについて
10	稲成小学校教育講演会	子どもへの関わり方や子育てについて
10	東牟婁地方養護教諭研究会	ヤングケアラーの問題について
10	中山路小学校	「子どもの権利条約」や「困ったときの対処の仕方」を通して親子で人権を考える



稲成小学校教育講演会

ご存じですか通信制高校和歌山白浜SHIP

お近くにあります

明誠高校 広域通信課程

のこのこの母体であるNPO白浜レスキューネットワークでは、益田永島学園明誠高等学校の広域通信課程和歌山白浜SHIPを運営しています。明誠高校広域通信課程に在籍する生徒の約7割が、学校に行きづらかった、不登校だった、学校生活になじめなかった生徒です。その多くが、入学後はSHIPに積極的に通い、前向きな生活を送っています。

明誠高校が認定した広域通信課程の学校生活支援拠点の教室を「SHIP(シップ)」と呼び、生徒は、全国のいずれかのSHIPに所属する体制となっています。

和歌山白浜SHIPは、来々4月1日から、白浜町中のクオリティソフト白浜本社の東館をお借りして、教室が運営されるようになります。現在、1、2年生の生徒が在籍しています。SHIPについては、これからも通信で紹介していきます。

明誠高校SHIPについては、<https://meisei-ship.com/ship.html>をご覧ください

知ろう、考えよう 子どもの福祉その⑤「こども基本法」



こどもの権利等を定めた「こども基本法」が令和4年6月に国会で成立し、令和5年4月1日に公布されました。この法律には、こどもたちが持つ権利や、こどもたちを守るために政府がどのようなことをするか書かれています。

こども基本法は、こどもたちが将来にわたって幸せな生活を送ることができる社会を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としています。

【こども基本法の柱】

①だれのためのルール?

・「こども基本法」のいう「こども」とは「心身の発達の過程にある者(からだど心が成長している途中の人)」とされ、年齢のきまりはありません。

②どんなルール?

・すべての子どもが個人として尊重され、基本的人権が

保障され、差別的な扱いを受けないようにすること

・すべての子どもが、適切に育てられ、愛され、保護されること、教育を受ける機会が等しく与えられること

・すべての子どもが、意見を表明したり、社会活動に参加したりする機会があること

・すべての子どもの意見が尊重され、最善の利益が考慮されること

③なにが変わるの?

・「こども家庭庁」ができ、「こども大綱」(こども施策)の方針)が定められます。「こども施策」を具体的に進めるため、「こども政策推進会議」で話し合いがされます。他省庁や自治体の政策が不十分な場合は「勧告」することができます。

次回も、「こども基本法」について学びを進めていきたいと思ひます。

いっしょに学びませんか

こども教養講座 いのちを守る最前線から、幸せの土台となるコミュニティ創りへの期待

【主催】 白浜町社会福祉協議会 くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ クオリティソフト(株)ISアカデミー



親子・家族関係からいのちに関わる専門的立場から

森崎雅好

MORISAKI Masayoshi

高野山大学 教授
県臨床心理士会会長

著書；自死と向き合うー自殺防止のためにできること… (京都 阿吽社)



学校・教育現場のいのちに関わる専門的立場から

新井肇

ARAI Hajime

関西外国語大学教授
文部科学省「いじめ防止対策協議会」座長

編著書「支える生徒指導」の始め方：「改訂・生徒指導提要」10の実践例 (教職研修総合)



人生をあきらめようとする人に直接向き合うゲートキーパーから

藤藪庸一

FUJIYABU Yoichi

NPO 法人 白浜レスキューネットワーク代表

著書；あなたを諦めない自殺救済の現場から (フォレストブックス)



コミュニティのウェルビーイングを求める専門的立場から

野尻紀恵

NOJIRI Kie

日本福祉大学教授・学長補佐
日本福祉教育・ボランティア学習学会副会長

著書；子どもの隠された貧困とスクールソーシャルワーカーの役割 (大学図書出版)

講座の概要

今回のこども教養講座は、「いのちに関わる研究・実践の専門家とゲートキーパー」から最新の状況を踏まえた上で、いのちを守り輝かせる新たな提案がなされます。それをコミュニティがどのように受けとめていけるかを講座参加者の意見も交えて「コーディネータ」が紡いでいく参画型の学習会です。

「いのち」をテーマにすることで、こどもたちの「自死・自殺」の問題だけでなく、「不登校やいじめ、虐待等」の問題の解決と予防に接近できる地域や学校・職場といったコミュニティのウェルビーイングについて考えていきます。

午前中のセッションⅠでは、講義形式で4人の登壇者それぞれの立場から、自死・自殺に関わる考えを示します。そのうえで、問題解決のためのコミュニティへのアプローチのありかたについて、4人それぞれの考え方を述べてもらいます。

午後からのセッションⅡでは、野尻氏のコーディネートによって、各登壇者の考える「いのちを支えるコミュニティのウェルビーイング」を育み高めるためのありかたをつなげていきます。聴いている講座参加者の方々に、「ウェルビーイングの土台となるコミュニティ創り」への期待と接近の仕方を共に見出そうとするモチベーションを芽吹かせます。

セッションⅢでは、4人の講師それぞれが待つ「アイランド(島)」に例えたグループに、参加者が4班に分かれて、「上陸」します。そこで講師との意見交換をする中で、「ウェルビーイングの土台となるコミュニティ創りにより接近するには」を参加者それぞれが模索します。参加者は班ごとに20分間隔で別のアイランドに上陸して次の講師と出会い、対話を重ねていきます。

セッションⅣでは、参加者との対話で重ねた内容に基づき、講師それぞれがコミュニティ創りの新たな展開を構想して、その一端を報告します。最後にコーディネータが本日の学びをまとめて会場で共有して、会をクローズします。

※ウェルビーイングとは「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態」の幸福を意味しています。

9:30		オープニング	開会行事
9:40	セッションⅠ	提案①	親子関係・家族関係に関わる専門的立場(森崎)から
10:10		提案②	学校・教育現場のいのちに関わる専門的立場(新井)から
10:40		休憩	
10:50		提案③	人生をあきらめようとする人に直接向き合うゲートキーパー(藤藪)から
11:20		提案④	コミュニティのウェルビーイングを求める専門的立場(野尻)から
11:50		昼食休憩(施設内には「たまな食堂」がご用意) (昼食持参の場合は会場でお取り下さい)	
12:50	セッションⅡ	パネルディスカッション	いのちを支えあえるコミュニティのウェルビーイングについて一歩踏み込むパネラー(講師)；藤藪庸一・森崎雅好・新井肇、コーディネータ；野尻紀恵
13:40	セッションⅢ	アイスブレイキング	
13:50		ワールドカフェ①	講師と参加者がつながり、4つのアイランドでのコミュニティのウェルビーイングづくりのアイデアを話し合う
14:10		ワールドカフェ②	
14:30		休憩	
14:40		ワールドカフェ③	講師と参加者がつながり4つのアイランドでのコミュニティのウェルビーイングづくりのアイデアを話し合う
15:00		ワールドカフェ④	
15:20	セッションⅣ	クロージング	各アイランドでの話し合いの報告と振り返り
15:40		終了	

【日時】令和6年2月25日(日)9:30~15:30

【場所】INOVATION SPRINGS 649-2333 和歌山県西牟婁郡白浜町中1701-3クオリティソフト(株) 内

【定員】先着40名(40名を超えた場合、その後に申し込まれた方はセッションⅣは聴講のみとなります。ご希望が多い場合は、お断りすることもございます。早い目にお申し込みください。申し込み方法はチラシをご覧ください。

※申し込み方法記載のチラシは次頁です。

いのちを守る 最前線から

～幸せの土台となるコミュニティ創りへの期待～

「いのち」をテーマにすることで、不登校やいじめ、虐待などの問題の解決と、予防にも接近できるコミュニティのウエルビーイング(※1)について考えていきます。

講座&ディスカッション

厚生労働省によると2022年の1年間で自殺した人は21,881人。このうち児童・生徒は514人で統計開始以降初、500人を超えました。いのちのゲートキーパー(※2)と専門家が、さまざまな状況のなかで命を守り輝かせるための新たな提案と、それをコミュニティがどう受け止めていけるかをコーディネーターが紡いでいきます。

※1 ウエルビーイングとは「肉体的にも精神的にも、そして社会的にもすべてが満たされた状態」の幸福のこと
※2 自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る)を図ることができる人

先着40名
参加無料
※お子様連れも可
2024. 2. 25 日
9:30～15:30
(9:00受付開始)

対象 保護者及びその児童生徒、地域、教育、福祉に関わっている方等
どなたでもご参加ください！

講師



森崎 雅好 氏

・ 高野山大学 教授
・ 県臨床心理士会会長



新井 肇 氏

・ 関西外国語大学教授
・ 文部科学省
「いじめ防止対策協議会」座長



藤藪 庸一 氏

・ 白浜バプテスト基督教会 牧師
・ 白浜レスキューネットワーク
理事長



野尻 紀恵 氏

・ 日本福祉大学教授・学長補佐
・ 日本福祉教育・ボランティア学習
学会副会長

プログラム

9:30 オープニング

9:40 提案①～④

森崎 雅好 氏・新井 肇 氏
藤藪 庸一 氏・野尻 紀恵 氏

11:50～12:50 昼食休憩 (敷地内にレストランあり)

12:50 パネルディスカッション

13:40 ワールドカフェ
(講師と参加者によるグループ別の対話コーナー)

15:40 終了予定

会場案内

INNOVATION SPRINGS

〒649-2333

和歌山県西牟婁郡
白浜町中1701-3
クオリティソフト(株)新館



お申込 WEBページよりお申込みください ※定員になり次第受付終了

【主催】白浜町社会福祉協議会 / くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ / クオリティソフト株式会社

【お問合せ】 E-mail: isacademy@qualitysoft.com TEL: 050-3196-8051 (9:00 - 17:00)

クオリティソフト株式会社ISアカデミー



お申込みは
こちら



～親子で遊びに来ませんか～



12月になり、今年も残すところあと半月ほどとなりました。みなさまにとって今年はどうな1年だったでしょうか。子どもたちにとっては1年という期間は大きな変化、成長のある日々となります。親御さんはその変化、成長に一喜一憂しながら共に過ごされてきた1年だったのではないのでしょうか。子育てでは時には「しんどいな・・・」と感じることもあります。そんな時にはグチを聞いてもらったり、相談したりできる仲間や相談機関があって、少しでもこころが軽くなれるといいですね。こころが晴れるとまた子どもさんとの時間を楽しむことができます。のこのこも、そんなみなさまに寄り添える場でありたいと思っています。



1月22日(月) 自由遊び・リトミック



11時頃～ のこのこ食堂 (親子 100円)

※大人一人増えるにつき+100円

22日は月1回の、のこのこ食堂の日です。食堂利用の方は前日 17時45分までにご予約下さい。電話、LINE、mailにてご予約いただけます。

※NPO 法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。

♪♪【のこのこ広場】♪♪

10月に始まったのこのこ広場も4回を終え、来ていただいているお母さん同士も顔見知りになってお話しされているのでうれしく思います。これからもつながりが広がりますように…来年もよろしく願いいたします。

場 所：白浜町青少年研修センター 2F大広間 ※変更する可能性あり

日 時：毎月第2・第4月曜日(祝日は休館)

9：30～11：00

参加費：無料

就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。子育ての悩み等、ワイワイとおしゃべりしましょう。おもちゃで遊んだり、紙芝居を見たり、リトミック広場を開催したりします。みんなで楽しく遊びましょう。

※予約不要 ご自由に遊びに来てください。

授乳スペース、おむつ替えスペースあります



くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

連絡先 TEL 0739-42-5515
FAX 0739-42-5516



のこのこ HP LINE



G mail

